

2026 年 6 月 5 日作成 Ver.4.0

《情報公開文書》

当科における噴門形成術症例の臨床的特徴
および治療成績に関する後方視的検討

研究の概要

【背景】

近年、少子化に伴う小児外科症例数の減少により、若手外科医が小児外科手術に十分関与し、経験を蓄積する機会が限られていることが課題となっています。なかでも噴門形成術は、小児外科領域において高度な腹腔鏡下手術手技を要する術式であり、小児外科専門医・技術認定取得に向けても重要な症例の一つと位置づけられています。一方で、小児に対する噴門形成術の適応、周術期管理、術後経過には多様性があり、その臨床的特徴や治療成績を自施設で調査することは、今後の診療の質向上に有用と考えられます。

【目的】

長崎大学病院腫瘍外科 小児外科（以下、当科）において噴門形成術を施行した患者さんを対象として、診療録に基づく後方視的調査を行い、対象患者の臨床的特徴および治療成績を明らかにすることを目的とします。

【意義】

本研究により、当科における噴門形成術症例の実態、周術期経過、術後成績を明らかにすることで、より安全で質の高い小児外科診療体制の構築に役立つ知見が得られることが期待されます。

【方法】

当科において噴門形成術を施行した患者さんを対象とし、診療録を用いた後方視的観察研究を行います。情報を収集し、対象患者の臨床的特徴および治療成績を検討します。

対象となる患者さん

2020 年 1 月 1 日から 2025 年 12 月 31 日までに当科で噴門形成術を施行された患者さんを対象とします。

研究に用いる情報	
●研究に用いる情報 下記の情報を診療録より収集します。 年齢、性別、基礎疾患、術前症状、血液検査、画像検査、手術内容、手術時間、出血量、術後合併症、術後経過、入院期間 本研究で利用する情報等について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「お問い合わせ先」までご連絡ください。	
情報の利用開始予定日	
本研究は 2026 年 6 月 11 日より「研究に用いる情報」を利用する予定です。	
あなたの情報をこの研究に使われたくない方は下記の「問い合わせ先」までご連絡頂ければ対象者から外します。その場合もあなたの治療等に不利益になることはありません。 ご連絡のタイミングによっては対象者から外せない場合もあります。 あらかじめご了承ください。	
研究実施期間	
研究機関長の許可日～2028 年 3 月 31 日	
研究実施体制	
研究責任者	所属：長崎大学病院 腫瘍外科 小児外科 氏名：船原 光真 住所：長崎県 長崎市 坂本 1-7-1 電話：095（819）7304
情報の管理責任者	長崎大学病院 病院長
問い合わせ先	
【研究の内容、情報等の利用停止の申し出について】 長崎大学病院 腫瘍外科 小児外科 船原 光真 〒852-8501 長崎市坂本 1 丁目 7 番 1 号 電話：095（819）7304 FAX 095（819）7306	
【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く） 苦情相談窓口：医療相談室 095（819）7200 受付時間：月～金 8：30～17：00（祝・祭日を除く）	

